

横暖ルーフ

工法

重ね葺き

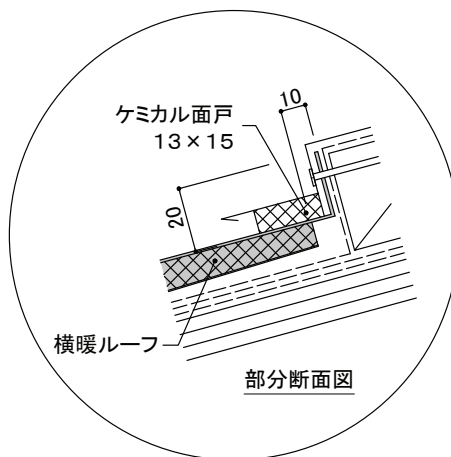
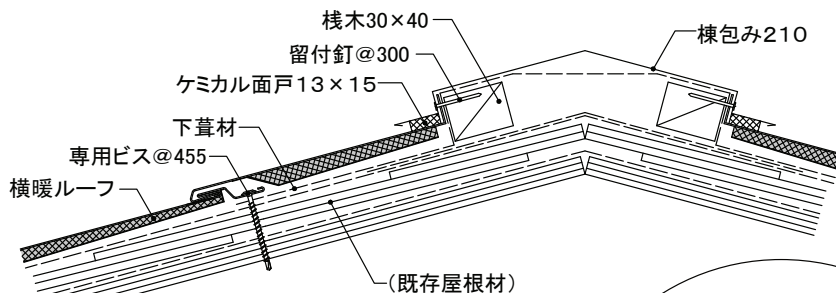
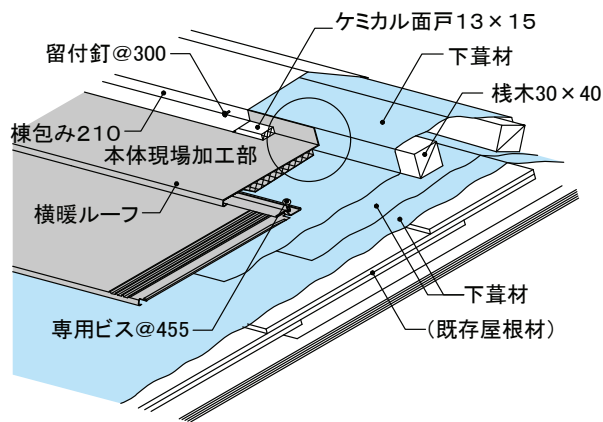
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

5)大棟部

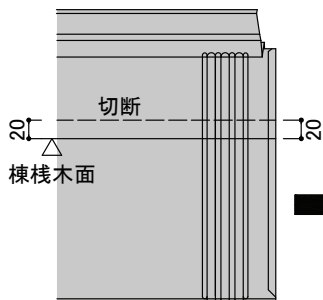
①棟包み210

- 既存屋根材に下葦材を張ります。
- 棟部に棧木30×40を外側2ヶ所取り付け、棧木を包むように下葦材を増し張りします。
- ※工事中は棟包み210に乗らないでください。工具、部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 棟部は図のように加工した横暖ルーフ本体を施工し、本体の図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、棟包み210をかぶせるように施工します。棟包み210は、留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、300mm以下の間隔で棧木に留め付けます。
- けらば部は棟巴を使用して納めます。

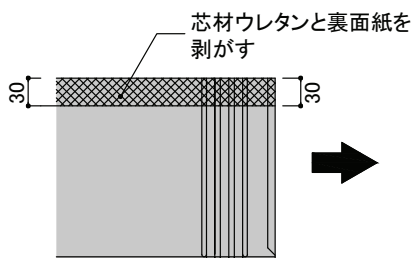


■施工ポイント・現場加工図

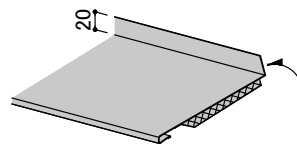
- 横暖ルーフ本体の大棟部分は、図のように加工します。



①棟棧木面から
図の寸法で切断します。



②端部から30mmの位置まで芯材
ウレタンと裏面紙を剥がしてください。



③端部から20mmの位置を
折り曲げて立ち上げます。